

2019年度 事業所評価アンケート (ココスマイル)

利用者様、職員の事業所評価アンケートを行った後、職員で内容を検討し、桃山学院教育大学永井利三郎教授(大阪大学名誉教授)に外部評価をしていただきました。以下のとおりご報告いたします。【基準; 達成(80~100%が「はい」と回答) ほぼ達成(60~79%) 未達成(60%未満)】

	項目	全体評価	児童発達	放デイ	いただいたご意見と改善策		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。	達成	達成	達成	環境につきましては、おおむね好評をいただきました。事業所として、常に清潔を心掛け、毎日の清掃や整理整頓を心掛けたつもりですが、手が回らず待合エリアが散らかったままになっていることもあり。お子さんたちにも療育の一貫として片付けることを教えながら、点検整備に心がけていきたいと思っております。iPadのカメラでお子さんの手元が見えにくい、階段が急であることをご指摘いただきましたが、構造上致し方ない部分でありますので、担当が療育の様子をお伝えしたり、階段での安全確認をしたりと、ソフト面で職員がカバーするようにしています。		
	2 職員の配置数や専門性は適切だと思いますか。	達成	達成	達成	職員の配置数や専門性については、満足していただいている方もあれば、曜日により担当変更が続く方もあり、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。安定した配置で運営できるようにしていきます。		
	3 学習室は本人にわかりやすい構造化された環境になっていますか。また特性に応じ事業所はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	達成	達成	達成	職員の専門性については職員の専門性については、利用前の見学時や契約時にご説明させていただいている通り、職員の個別の専門性に特化した療育は行っておりません。公認心理士(臨床心理士、臨床発達心理士)、教諭、保育士、幼稚園教諭、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士等、職員は皆専門資格を有しており、皆でお子様の優先課題や支援方法を検討して療育を実施しております。科学的根拠のある介入方法を用いることを重んじ、ジェネラリストモデルの考え方で実施しています。いろいろな職種がある利点を活かし、療育の質的な差が出ない工夫をこれからも続けていこう、永井先生からご助言いただきました。		
	4 事業所は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていますか。また子どもたちの活動に合わせた空間になっていますか。	ほぼ達成	達成	達成	また、お子さんのアセスメントがとても重要で、その中でも特に、そのお子さんの感覚特性が、できないことに繋がっていることが多いということをお伝えいただきました。アセスメントをきちんとすることがそのお子さんの行動の理解に繋がります。当所が把握したことについて学校等に繋げていくことで、集団生活の中でお子さんがしんどくならないような工夫ができていくということもご助言いただきました。		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	未達成	/	/	業務改善につきましては「子どもが楽しみにしている」というお言葉をいただき、職員の励みになりました。これからも楽しい場所である様に心がけていきます。一方で、いやがる週があるとの声もありました。できる限りお子さんが「楽しかった」と思えるような支援の工夫をし、「できた」「やった」という達成感や成就感を積み重ねていきたいと考えています。日頃の様子などを伺ったり、療育中に気付いたことを担当から話したりと、情報交換、意見交換をしながらより良い療育をしていくことができるよう、今後ご協力をよろしくお願い致します。		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	達成					
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか(予定はあるか)。	達成					
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(予定はあるか)。	達成					
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	ほぼ達成					
	10 職員は子どもの支援について意義を感じ工夫し楽しむことができていますか。	達成				達成	達成
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用し、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。	達成	/	/	適切な支援の提供については「子どもの変化に合わせてもらっている」「子どもの凹凸に合わせてもらっている」「子どものペースに合わせてもらっている」というご意見や、「一つのアプローチだけでなくいろいろなアプローチを知りたい」「年齢があがったときの課題の考え方を知りたい」「苦手なことにどう挑戦させていけば良いのか知りたい」等のご要望をいただきました。療育内容や目標等、ご家族と意見交換をしたり、職員間で話し合ったりして、ご家族やご本人の要望にお応えしていくよう、今後とも取り組んでいきたいと思っております。		
	12 個別支援計画書にはガイドライン総則の基本活動や「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示された内容から必要項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか。	ほぼ達成					
	13 個別支援計画に沿った支援を行っているか。	達成				達成	達成
	14 支援内容を職員間で検討し、子どもの発達や課題の進捗状況、その時の状態等に応じて固定化しないよう工夫しているか。	ほぼ達成				達成	達成
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	未達成					
	16 支援終了後には、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を職員間で共有しているか。	未達成					
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	達成					
	18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	未達成					
関係機関や保護者との連携	19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	ほぼ達成	/	/	未達成項目は、機会がなかった項目です。学校でのケース会議への参加、学校や園に当所での療育についてご説明する等、情報はできる限り共有しております。ココスマイルを退所する方の引継ぎなどは積極的に実施しております。		
	20 移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所、学校、特別支援学校等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	達成					
	21 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	未達成					
	22 他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	未達成					
	23 (地域自立支援)協議会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	未達成					
	24 電話対応、見学対応、契約対応等で、保護者に丁寧な説明ができていますか。	達成				達成	達成
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	達成				達成	達成
	26 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を行っているか。	未達成					
	27 個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。	達成				達成	達成
	28 保護者の苦情、相談や要望に対して適切な面談や助言等の支援を行っているか。	達成				達成	達成
	29 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	ほぼ達成				達成	達成
非常時の対応	30 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	達成	達成	達成	各種マニュアルの整備による対応の統一化と定期的に行われる避難訓練により、台風は早めの対応ができました。感染症対策は国の通達に基づき早急に対応する事ができました。虐待防止研修、救急救命研修は関連の全事業所職員とともに受けています。年度末にコロナウイルス感染が世界的に話題となり、対策を徹底しました。身体拘束については対象者がいないために記載はありません。できるだけ速やかに非常時の対応ができるように、今後も取り組んでいきたいと思っております。また、清潔な環境を保てる様に、清掃の徹底などをしていきます。		
	31 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	達成	達成	達成			
	32 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	ほぼ達成					
	33 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	ほぼ達成					
	34 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	達成					
	35 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	未達成					
	36 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	達成					

ご協力ありがとうございました。